

きつつきの商売

林原 玉枝 作・村上 康成 絵

読む力

- ①場面のようすを思いうかべながら（そうぞうしながら）、音読する力。
- ②文しようを読んで、登場人物の気もちを考える（そうぞうする）力。

その力をつけるために・・・

【めあて】場面のようすや気もちをそうぞうして、自分の考えをまとめよう。

とらえる

↓
ふかめ

↓
まとめ

↓
ひろげる



今まで、「1」と「2」場面のようすや気もちをそうぞうし、くわしく読んできました。ここでは、

これまで学しゅうしたことを生かして、「あなたがおきやくなら・・・」という考えを、もう一ど
まどめてみましょう。きっと、No.2のプリントのときよりも、自分の考えがふかまっているはずです。



①考えをまとめるために、音読しよう。

◆ステップ① *音読したら、○に色をぬろう。

ステップ①

「野うさぎ」と「野ねずみたち」のどちらのおきやくになりたいかきめるために、

一回ぜん文を音読する。

◆ステップ② *音読したら、○に色をぬろう。

ステップ②

どうしておきやくになりたいか、理ゆう（わけ）になることばや文をさがすために、

一回ぜん文を音読する。

◆ステップ③ *音読したら、○に色をぬろう。

ステップ③

理ゆう（わけ）になることばや文に、えんぴつで線（サイドライン）をひこう。

②自分の考えをまとめよう。

線をひいたことばや文から、そうぞうをふくらませて、自分の考えをまとめよう。

自分の考え	
ぼくは、 わたしは、	「 」の場面のおきやくになりたりです。
わけは、	

*No.2のプリントのときよりも、自分の考えがふか
まっていたら、「読む力」ついてきたしょうだよ。

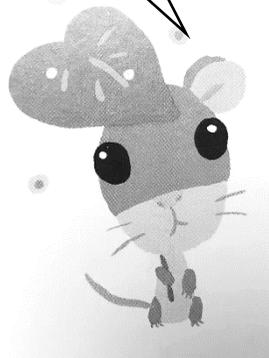


③自分のなりたたいおきやくの場面を、そうぞうを広げて音読しよう。

◆場面のようす、登場人物の気もちをそうぞうしながら音読しよう。

◆声の強いー弱い・声の高いーひくい・速く読むー^{はや}ゆっくり読むなどを
くふうして、音読しよう。

たくさん音読をがんばったね。はじめて音読
したときよりも、本当に上手に読めるようになったぞ。「読む力」がのびてきたね。



ふりかえり(まとめ)

*□の中にあてはまることばを書こう。

◎場面のようにすや登場人物の気もちをそうぞうするときには、

をあらわすことばや、

をあらわすことばに気をつけて

読むことが大切です。